

既存社員向け研修

# プロジェクトマネジメント研修 一階層別プロジェクトマネジメント ご案内

## ◇プロジェクトを通じて部門の将来を創る

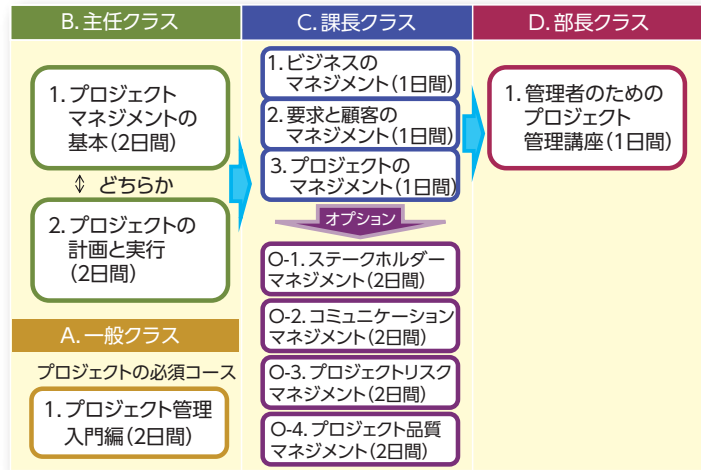
いま、多くの業務がプロジェクトとして実施されるようになってきました。このような業務遂行においては、プロジェクトリーダーの能力と同じくらい、上位管理者(以下、マネジャー)のプロジェクト管理能力が業績を左右します。加えて、プロジェクトを通じて部門の将来へ向けて。

# プロジェクトで 会社や社会を変える!

プロジェクトマネジメント研修、プロジェクトスポンサー(マネジャー)研修、プロジェクトマネジメント支援スタッフ(PMO)研修、プロジェクトマネジメントの質的向上研修など『プロジェクトをビジネスのエンジンにする』をテーマに、御社に最適のご提案をいたします。

研修、ワークショップは5名様から承ります。  
カスタマイズできますので、お気軽にお問い合わせください。

## プロジェクトマネジメント研修体系



## プロジェクト管理入門編

コード A-1

研修日時 / 2日 9:00~18:00または20:00

対象者 / ○プロジェクトリーダー ○プロジェクトリーダー候補生  
○プロジェクトメンバー

### コース概要 /

- プロジェクト管理の定義を学びQCDと顧客満足のバランスによりプロジェクトの成功と失敗を学びます。
- プロジェクトマネジメントの世界標準であるPMBOKガイド第4版に沿って、プロジェクトマネジメントの基本を学びます。
- プロジェクトメンバーとしての基本的な心得を学びます。

### 到達目標 /

- プロジェクトの定義とプロジェクトの成功と失敗、を身に付ける事ができる。
- プロジェクトマネジメントの標準的な考え方を理解できる。
- プロジェクトメンバーとしての役割とコミュニケーションの重要性を理解できる。

### コース詳細 /

1日目(10時間)
<b>I. プロジェクトとは何か</b> プロジェクトの定義の前にそもそも“業務”とは? 1. プロジェクトの定義(プロジェクトの特性) 2. プロジェクトの成功と失敗 3. プロジェクト管理の進め方 (1) プロジェクト計画の策定 (2) 納期・コスト管理の進め方 (3) 品質管理の進め方
2日目(10時間)
<b>II. プロジェクトマネジメントの基本</b> 1. プロジェクトマネジメントとは (1) プロジェクトマネジメントの定義 (2) プロジェクトマネジメントとは 2. PMBOKの解説 3. P2Mの解説 <b>III. プロジェクトメンバーとしての基本的な心得</b> 1. リーダーとメンバーの役割の違い 2. コミュニケーションの重要性

## プロジェクトマネジメントの基本

コード B-1

研修日時 / 全2日間 9:00~18:00または20:00

対象者 / ○主任クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

### 狙い /

- PMBOK®の基礎知識を習得する
- PMBOK®のプロセス群と知識エリアを理解する。
- PMBOK®の主なプロセスについて理解する。

### 特徴 /

- PMBOK®の知識をケースによる演習によって習得する
- PMBOK®の主なプロセスをケースによるグループ演習にて習得し、かつチームビルディングを体験する。

### 効果 /

- プロジェクトマネジメントを理解し、マネジメントが効果的になる
- PMBOK®の主なプロセスを理解することで、プロジェクトマネジメントへの理解が進む。
- それぞれのプロジェクトに適した、効果的なプロジェクトマネジメントができるようになる。

### コース詳細 /

1日目(10時間)
1. プロジェクトマネジメントとPMBOK®の概要 ・プロジェクトとプロジェクトマネジメント ・5つのプロセス群と10の知識エリア 2. プロジェクトの立上げ ・プロジェクト憲章、ステークホルダー分析[演習] 3. プロジェクトの計画 ・スコープ定義 ・WBS
2日目(10時間)
3. プロジェクトの計画(続き) ・要員計画・スケジュール作成・リスク管理 ・予算作成・コミュニケーション計画[演習] 4. プロジェクトのコントロール・実行・終結 ・進捗管理・チーム育成・振り返り ・EVM[演習]

## プロジェクトの計画と実行

コード B-2

研修日時 / 全2日間 9:00~18:00または20:00

対象者 / ○主任クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

### 狙い /

- プロジェクトマネジメントの流れとポイントを理解する
- プロジェクトの定義、計画、実行とコントロール、振り返りの流れを講義で理解し、演習にて知識の理解を確認し、気づきを得ることでポイントを理解する。

### 特徴 /

- 演習にて、プロジェクトマネジメントを体験する
- LEGO®を使ったプロジェクトの演習を交え、理論を体験し、実践的な知識として習得することを目指す。

### 効果 /

- 習得した知識の適用で、プロジェクトをマネジメントできる
- ビジネスケースを作成することで、プロジェクトの背景、目的を考えたプロジェクト計画を作成できる。
- 単なる知識だけではなく、流れや仕組みを理解することで、実務に適用できるようになる。

### コース詳細 /

1日目(10時間)
1. プロジェクトとプロジェクトマネジメント ・プロジェクトのライフサイクル ・プロジェクトマネジメントの視点 ・PMBOK®の概要 2. プロジェクトの定義 ・ビジネスケース・プロジェクト憲章 ・商品ビジョンボックス・ステークホルダー分析[演習]
2日目(10時間)
3. プロジェクトの計画 ・WBS・スケジュール作成・予算作成・コミュニケーション計画 ・リスク計画[演習] 4. プロジェクトの実行とコントロール、振り返り ・チーム育成 ・進捗管理・振り返り ・プロジェクト実行・振り返り[演習]



## ビジネスのマネジメント

コード C-1

研修日時／全1日間 9:00～18:00(最大18:00または20:00)

対象者／○課長クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

狙い／

必要なビジネススキルの習得

○プロジェクトをマネジメントするために必要なビジネススキル全般を習得する。

特徴／

事業、プログラム、プロジェクトの流れを解説する

- 事業戦略からプログラム、プロジェクトの流れ、ベネフィットを達成するためのコストマネジメント、ベンダーマネジメントを解説する。
- ケースシナリオによる解説とグループ演習、ロールプレイにより、講義内容への理解が深まり、納得感を得ることができる。

効果／

プロジェクトの成果がビジネスに、より適したものになる

- ビジネスとプログラム、プロジェクトの関連を理解することによって、プロジェクトマネジメントにおいて、意思決定がより適切になる。
- ベネフィットを考慮したマネジメントを行うことができる。

コース詳細／

### 前半(3時間)

- 1.ビジネスのライフサイクルとプログラム・プロジェクト
  - ・システムライフサイクルと開発／運用
  - ・プロジェクトの立上げ
  - ・ベネフィットをプログラムで管理する
  - ・プログラムマネジメント

### 後半(5時間)

- 2.コストマネジメント
  - ・原価計算・プロジェクトコスト・投資コスト
  - ・見積もりとコストコントロール
  - ・コストコントロール計画策定[演習]
- 3.ベンダーマネジメント
  - ・調達計画の策定とベンダー選定準備
  - ・RFPと提案書の評価
  - ・ベンダー決定と契約・ベンダーコントロール
  - ・ベンダーのコントロール[ロールプレイ]

## 要求と顧客のマネジメント

コード C-2

研修日時／全1日間 9:00～18:00(最大18:00または20:00)

対象者／○課長クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

狙い／

顧客満足を実現するためのマネジメントを理解する

- ステークホルダーマネジメント全般を理解する。
- 顧客満足を実現するために必要な段階的詳細化と顧客中心プロジェクトマネジメントを理解する。
- 段階的詳細化計画、ステークホルダーマネジメント計画、コミュニケーションマネジメント計画を作成できる。

特徴／

相手の世界を理解することから顧客の求めるものを洞察する

- 相手の世界を理解し、内部顧客、外部顧客が求めているものを、洞察し、それらを実現するための流れを解説する。
- ケースシナリオによる解説とグループ演習、ロールプレイにより、講義内容への理解が深まり、納得感を得ることができる。

効果／

顧客が求めているものを理解し、それらを提供できる

- 要求マネジメント計画を作成することができるようになる。
- 要求収集を、適切なステークホルダーから行えるようになる。
- 顧客がプロジェクトに対して求めているものを理解する。
- 顧客中心プロジェクトマネジメントとコミュニケーションマネジメントにより、顧客満足を達成する。

コース詳細／

### 前半(4時間)

- 1.ステークホルダーマネジメント
  - ・ステークホルダーマトリクス作成[演習]
- 2.プロジェクト要求マネジメント
  - ・要求実現のための追加予算の交渉[ロールプレイ]

### 後半(4時間)

- 3.顧客満足を達成する
  - ・顧客満足を高めるプロジェクト計画[演習]
- 4.コミュニケーションマネジメント
  - ・コミュニケーション計画作成[演習]

## プロジェクトのマネジメント

コード C-3

研修日時／全1日間 9:00～18:00(最大18:00または20:00)

対象者／○課長クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

狙い／

基本方針の重要性と、リスク、品質マネジメントを理解する

- プロジェクトマネジメントの基本方針(グランドデザイン)を明確にすることの重要性を理解する。
- プロジェクトの目標を定義する品質マネジメントを理解する。
- プロジェクト目標を達成するためのリスクマネジメントを理解する。

特徴／

プロジェクト品質を4つの視点から解説し、ツールを習得する

- プロジェクト品質を4つの視点から解説し、プロジェクト品質を達成するためのツールの解説・演習を行う。
- リスクマネジメントをケースシナリオに沿って、プロセスを解説し、演習を行う。
- ケースシナリオによる解説とグループ演習、ロールプレイにより、講義内容への理解が深まり、納得感を得ることができる。

効果／

プロジェクト期間を通じて、ぶれない意思決定を行う

- 基本方針を決めることで、プロジェクト期間を通じて、ぶれない意思決定を行うことができる。
- プロジェクトインフラストラクチャーを主要ステークホルダーで共有することにより、ステークホルダーの協力を引き出すことができる。
- プロジェクト目標を達成するための、適切な品質マネジメント、リスクマネジメントを行うことができる。

コース詳細／

### 前半(3時間)

- 1.プロジェクトインフラストラクチャー
  - ・プロジェクトインフラストラクチャー[演習]

### 後半(5時間)

- 2.プロジェクトリスクマネジメント
  - ・リスク特定[演習]
  - ・チームのリスク感度を上げるには[ディスカッション]
- 3.プロジェクト品質マネジメント
  - ・プロジェクト品質の家(ツール)の作成[演習]

## ステークホルダーマネジメント

コード O-1

研修日時／全2日間 9:00～18:00または20:00

対象者／○課長クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

狙い／

ステークホルダーマネジメントを広い範囲で学ぶ

- ステークホルダーマネジメントを体系的に学ぶ。
- プロジェクトで使える具体的な手法やツールを習得する。

特徴／

期待のマネジメントについて解説する

- ステークホルダーの期待を把握し、マネジメントする手法やツールについて、解説し、演習にて理解を補完する。
- ロールプレイにて、期待についての気づきを得る。

効果／

ステークホルダーの協力によって、期待以上の成果をあげる

- ステークホルダーの期待をマネジメントすることで、ステークホルダーの協力を引き出すことができる。
- 期待以上の成果を上げる。

コース詳細／

### 1日目(10時間)

- 1.ステークホルダーマネジメントとは何か
- 2.ステークホルダー分析の手法
  - ・ステークホルダー登録簿[演習]
- 3.ステークホルダーの期待をマネジメントする
  - ・ステークホルダーの期待[ロールプレイ]
- 4.ステークホルダーのプロジェクトへの協力を得る
  - ・ステークホルダーキューブ[演習]

### 2日目(10時間)

- 5.ステークホルダーと交渉する
  - ・交渉[ロールプレイ]
- 6.ステークホルダーマネジメントを計画する
  - ・ステークホルダーマネジメント計画[演習]
- 7.ケース
  - ・上位者との話し合い[ロールプレイ]
- 8.ステークホルダーマネジメントの難しさ

## コミュニケーションマネジメント

コード O-2

研修日時／全2日間 9:00～18:00または20:00

対象者／○課長クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

狙い／

プロジェクトにおけるコミュニケーションを理解する

- コミュニケーションマネジメントによって、プロジェクトがどのように変わるかを理解する。
- コミュニケーションマネジメント計画作成手順を理解する。

特徴／

演習にてコミュニケーションマネジメントの難しさを体感する

- 教育玩具を使った演習により、コミュニケーションのポイントを体感する。
- ロールプレイにより、プロジェクトにおける進捗報告のポイントを理解する。
- チームマネジメントのポイントをエクササイズで体感する。

効果／

コミュニケーションミスが減り、パフォーマンスが向上する

- コミュニケーションミスを起こさないようなマネジメントができる。
- ステークホルダーの協力が得られ、チームビルディングができ、プロジェクトパフォーマンスが向上する。

コース詳細／

1日目(10時間)	
1.コミュニケーションとは何か	3.プロジェクトにおけるコミュニケーションとコミュニケーションマネジメント
2.コミュニケーションの難しさ ・コミュニケーションマネジメントの重要性[演習]	

2日目(10時間)	
4.コミュニケーションマネジメント計画 ・コミュニケーションマネジメント計画[演習]	5.進捗報告 ・進捗報告[ロールプレイ]
	6.チームコミュニケーション ・チームコミュニケーション[エクササイズ]

## プロジェクト品質マネジメント

コード O-4

研修日時／全2日間 9:00～18:00または20:00

対象者／○課長クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

狙い／

プロジェクト品質とは何かを理解する

- プロジェクト品質向上のためのプロセスとツールとマインドを学ぶ。
- 顧客満足度を向上させるプロジェクトマネジメントのポイントを理解する。

特徴／

4つの視点からプロジェクト品質のマネジメントを解説する

- プロジェクト品質向上について、4つの視点での施策をプロセス群ごとに解説する。
- 顧客の期待からプロジェクトのスコープ、プロジェクト品質の基準を決めるためのツールとして、プロジェクト品質の家(ツール)を演習にて作成する。

効果／

顧客満足度を向上させるマネジメントを実践できる

- プロジェクト品質を向上させるためのプロセスとツールを理解し、実施することで、結果として、成果物の品質が向上する。
- 顧客満足度を向上させるプロジェクトマネジメントを実践できる。

コース詳細／

1日目(10時間)	
1.プロジェクト品質と顧客満足 ・品質低下の原因をシステム思考で考える[演習]	
2.プロジェクト品質を高め顧客満足度を向上させるプロジェクト計画 ・プロジェクトマネジメント計画作成[演習]	

2日目(10時間)	
3.プロジェクトライフサイクルごとのプロジェクト品質の向上 ・プロジェクト品質の家(ツール)の作成[演習]	
4.顧客満足度を向上させるプロジェクトマネジメントのポイント ・顧客を巻き込んだリスクマネジメント ・プロジェクトマネジメント計画の見直し[演習]	

## プロジェクトリスクマネジメント

コード O-3

研修日時／全2日間 9:00～18:00または20:00

対象者／○課長クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

狙い／

リスクマネジメントをやり抜くマインドを作る

- リスクマネジメントをプロジェクト関係者全体の問題としてとらえ、リスクマネジメントを確実にやり抜く環境とリスクに対するマインドを作り上げる。
- リスクマインドの土台となるPMBOK®プロジェクトマネジメントを理解する。

特徴／

リスクマインドのアセスメントと対策を具体的に解説

- プロジェクトやプロジェクトマネジャー、プロジェクトメンバーのアセスメントを行う。
- リスクマインドを具体的に指標化し、指標を上げるための対策を解説する。
- 演習シナリオに沿って、PMBOK®のリスクマネジメントプロセスを体験する。

効果／

リスクマインドの向上

- リスクをとることで、挑戦的、かつ戦略的なプロジェクトマネジメントができるようになる。
- それぞれのプロジェクトのリスクマネジメントの必要性和リスクマインドのレベルを知ること、対策が効果的になる。

コース詳細／

1日目(10時間)	
1.リスクに対する正しい知識を身につける	3.リスク特定 ・リスク特定[演習]
2.リスクマネジメントの概要 ・リスクドリル[演習]	4.リスク分析 ・リスク分析[演習]

2日目(10時間)	
5.リスク対応計画 ・リスク対応計画[演習]	7.リスクの分類とパターン化、ナレッジマネジメント ・リスクパターン作成演習[エクササイズ]
6.リスクの監視と管理 ・リスクドリル[演習]	8.プロジェクトのリスクマインドを高めるための施策 ・施策検討[エクササイズ]

## 管理者のためのプロジェクト管理講座

コード D-1

研修日時／全1日間 9:00～18:00(最大18:00または20:00)

対象者／○部長クラス(プロジェクト管理入門編受講済み)

狙い／

プロジェクトにおける管理者の役割と責任を知る

- プロジェクトの上位管理者として、プロジェクトの指導／支援の方法を知ると同時に、プロジェクトの成果を経営的に最大化する方法を考える。

特徴／

コンサルティングから生まれた実践的な講義内容と演習

- プロジェクトを成功させるために、上位管理者がすべき活動を網羅的に学ぶことができる。
- マネジメントは理論、リーダーシップは持論を中心に構成されている。

効果／

自身のリーダーシップを育成する

- プロジェクトに対して上位管理者がすべき活動を知り、自身の活動の振返りを行い、不足しているものを知ることができる。
- 他のマネジャーのリーダーシップについて知り、また、プロジェクトリーダーが望んでいるリーダーシップについて知り、自身のリーダーシップ育成の参考にすることができる。

コース詳細／

前半(4時間)	
1.管理者からみたプロジェクト活動の位置づけ ・事業・業務とプロジェクト活動	
2.プロジェクトに対する管理者の役割と責任	
3.組織の方針をプロジェクトにより実現する ・経営ビジョンや戦略を読み取る	

後半(4時間)	
4.管理下のすべてのプロジェクトを成功させるために ・ビジネスケースによる複数プロジェクトの管理	
5.ビジネスの成果が上がるプロジェクト実行環境の構築	
6.人材育成と風土づくり ・プロジェクトリーダーの育成	
7.プロジェクトスポンサーシップを身につける	

お問い合わせ先 バンフレット内容でご不明な点やご質問・ご相談(受講料・研修費用)がございましたらお気軽にお問い合わせください。



株式会社 日本教育情報センター

〒183-0023 東京都府中市宮町2-15-13 第15三ツ木ビル  
TEL:042-336-5311 FAX:042-336-5314  
http://www.socialskill.jp/ E-MAIL:recep@socialskill.jp